

宇部高専

校歌作詞者をしのぶ

故 上田さんの原稿や著書展示



関心を集めている校歌作詞者・上田さんの特設コーナー（宇部高専で）

宇部高専（福政修校長）の50周年記念資料展示室に、同校の校歌を作詞した元教官で大正から昭和期の詩人、上田敏雄さん（1900～82年）の特設コーナーが設けられている。校歌は67年の第1期生卒業に合わせて公募が行われたもので、開校間もないころのOBも「青春時代」を懐かしんでいる。来年2月28日まで。

上田さんは防府市出身。萩原朔太郎の推薦で「日本詩人」にデビューし、28年に国内で初めてシュールレアリスム（超現実主義）宣言をした。戦後は、前衛詩人協会で活躍した。「仮設の運動」「薔薇物語」などの著書がある。同校の初代英語科教官で、71年に退官した。

同校によると、校歌の公募には学生を含む6人が応募。最終的には上田さんの作品が選

ばれたが、「常盤の丘に

胸張り歌え」の歌詞に落ち着くまで、3回にわたる大幅な修正が行われた。曲が付けられ、完成したのは卒業式直前の2月だったという。

特設コーナーでは、修正案を含む直筆の校歌原稿のほか、詩人としての作品や著書、年表などが並べられている。校歌の歴史と同時に、上田さんの作品に触れることもでき、OBはもちろん在校生や保護者らの関心も集めている。

展示室は管理棟2階。一般も自由に見学できる。（渡辺）